令和６年度　第２学年　国語科　評価・評定

１．評価基準（各単元に概ね共通しています。）

評価の観点		Ｂとされる基準
１．知識・技能		○言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付いている。 ○話し言葉と書き言葉の特徴や、敬語の働きについて理解している。 ○１年までに学習した常用漢字に加え、350 字～450 字程度の漢字を読み、学年別配当表の漢字を書き、文章で使っている。 ○抽象的な語の量を増やし、類義語、多義語、同音異義語や多義語などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○単語の活用、助詞や助動詞の働き、文章の構成や展開について理解を深めている。 ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報の関係を理解し、それらの様々な表し方を理解し使っている。 ○古文や漢文を音読して古典の世界に親しみ、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ○漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して読みやすく速く書き、目的に応じて楷書と行書を使い分けている。
２．思考・判断・表現	話すこと	○社会生活の中から話題を決め、異なる立場を考えながら集めた材料を整理し、内容を検討している。 ○自分の考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ○資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。 ○論理の展開に注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。 ○相手の立場を尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。
	書くこと	○目的に応じて社会生活から題材を決め、様々な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ○伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係を明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ○説明や具体例を加えたり表現効果を考えて描写したりするなどして、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ○読み手の立場に立って、表現効果を確かめて、文章を整えている。 ○読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出している。
	読むこと	○文章全体と部分、主張と例示の関係や、登場人物の設定の仕方などを捉えている。 ○複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈している。 ○目的に応じて必要な情報を要約したり、場面と場面などを結びつけたりして、内容を解釈している。 ○文章と図表などを結び付け、内容を解釈している。 ○文章比較するなどして、文章の構成や論理の展開、表現効果について考えている。 ○文章を読んで理解したり考えたりしたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりたりしている。
	書写	○文字を書く上での留意点を確認したり、考えたりしながら書いている。
３．主体的に学習に取り組む態度		○学習の見通しを持って、粘り強く、自らの学習を調整しながら課題に取り組もうとしている。 ○積極的に意見を発表したり、工夫しながら板書をノートしたり、発展的な内容を自ら調べたり、探究心を持って主体的に課題に取り組もうとしている。 ○提出物は学習の見通しを持って完成させ、期限内に提出しようとしている。 ○課題の要点を的確に理解し、自分なりに創意工夫しながら丁寧に取り組もうとしている。 ○自らの学習を振り返り、成果を確認し、課題を見出そうとしている。

２．評価方法（次の資料を総合して評価します。）

定期テスト・小テスト・プリント・ノート・ワーク・漢字練習帳・聞き取りテスト・話し合い活動・書写作品・その他提出物・授業への取り組み

	配分	中間考査	期末考査	小テスト・プリント	ノート・提出物	授業取り組み
知識・技能	１００点	◎	◎	◎	○	○
思考・判断・表現	１００点	◎	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	１００点	○	○	◎	◎	◎

【達成率】Ａ＝８０％以上　Ｂ＝５０％以上　Ｃ＝５０％未満　　◎＝とても重視する　○＝重視する

【評　定】５＝９０％以上　４＝８０％以上　３＝５０％以上　２＝２０％以上　１＝２０％未満

令和6年度　評価計画

教科：社会科（地理）　第1学年，第2学年

1. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査（中間、期末、学年末）、単元末テスト

・ノート

・提出物

・授業への取組み

②観点別評価と各資料との関係

・観点別評価で各資料がどのくらいのウェイトを占めているかを示しています。

◎・・・とても重視する

○・・・重視する

学習活動／観点	重み付け	定期考査／単元末テスト	ノート	提出物の内容	授業への取組み
知識・技能	100%	◎	○	◎	○
思考・判断・表現	100%	◎	◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	100%	○	◎	◎	◎

令和6年度　評価計画

教科：社会科（歴史）　第1学年，第2学年，第3学年

1. 評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査（中間、期末、学年末）、単元末テスト

・ノート

・提出物

・授業への取組み

②観点別評価と各資料との関係

・観点別評価で各資料がどのくらいのウェイトを占めているかを示しています。

◎・・・とても重視する

○・・・重視する

学習活動 / 観点	重み付け	単元末テスト 定期考査	ノート	提出物の内容	授業への取組み
知識・技能	100%	◎	○	◎	○
思考・判断・表現	100%	◎	◎	◎	○
主体的に学習に取り組む態度	100%	○	◎	◎	◎

数学科　　第２学年

１．以下の目標について、①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度の３観点から評価します。

１章　文字式を使って説明しよう [式の計算]	・文字式の計算にも数の計算法則が成り立つことや、文字の計算のきまりに興味・関心を持つ。 ・文字式を利用した等式の変形や説明を考えることができる。 ・多項式の加減や単項式の乗除などいくつかの文字を含む数式の四則計算ができる。 ・単項式、多項式、次数、同類項などの用語の意味を理解し活用できる。
２章　方程式を利用して問題を解決しよう [連立方程式]	・問題解決にあたって連立方程式のよさに気づき、興味・関心を持つ。 ・連立方程式は１つの文字を消去することにより１次方程式に帰着して解くことができる。 ・加減法や代入法を用いて連立方程式を解いたり、具体的な問題の数量関係を連立方程式で表すことができる。 ・連立方程式やその解の意味、加減法、代入法による解き方を理解できる。
３章　関数を利用して問題を解決しよう [1 次関数]	・１次関数に興味・関心を持ち、式や表やグラフで表そうとする。 ・１次関数について表、式、グラフを活用して特徴を統合的にとらえることができる。 ・１次関数のグラフを書き、式を求める。また、変化の割合を求めることができる。 ・１次関数 $y=ax+b$ のグラフの傾き、切片の関係を理解している。
４章　図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	・図形の基本性質に関心を持ち、これらを利用しようとして図形を考えようとしている。 ・具体的な作業で角を求めたり、筋道を立てて説明することができる。 ・図形の基本性質を利用し、角の大きさを求めたり、証明をすることができる。 ・図形に関する用語とその意味を理解している。
５章　図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	・三角形の合同条件に興味を持ち、進んで調べようとする。 ・図形の性質を統合的、発展的にとらえ、互いに関連づけて考えることができる。 ・二等辺三角形や直角三角形の合同条件を用いることができる。 ・図形に関する性質の用語と意味、定義や定理を理解している。
６章　起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	・確率に興味を持ち、進んで調べたり、樹形図や表を利用して求めようとする。 ・場合の数の数え方について筋道立てて考えることができる。 ・樹形図や表を利用して、場合の数や確率を求めることができる。 ・場合の数や数学的確率を求める方法や意味を理解している。
７章データを比較して判断しよう [データの比較]	・四分位数、四分位範囲などを用いてデータの傾向を把握し、それらを事象の考察に活用しようとする。 ・四分位数、四分位範囲、箱ひげ図などで表現し、複数のデータを批判的な視点をもって比較する見方や考え方を身に付けている。 ・四分位数や四分位範囲を求めたり、箱ひげ図をかいたりすることができる。 ・四分位数や四分位範囲の必要性と意味、箱ひげ図で表すことのよさを理解している。

２，評価方法

①　下記の資料を総合して評価します。

- 定期考査（中間・期末）
- 小テスト
- 授業のプリント、問題集等の提出物の内容（宿題を含む）
- 授業時の取り組み

②　観点別評価と各評価資料との関係

・観点別評価で、各資料がどの位のウエイトを占めるかを示しています。

◎とても重視する　○重視する　△参考にする場合がある

観点	配分	中間考査	期末考査	小テスト	提出物	授業の取り組み
知識・技能	１００	◎	◎	◎	○	△
思考・判断・表現	１００	◎	◎	○	○	△
主体的に学習に取り組む態度	１００	○	○	△	◎	◎

【達成率】Ａ＝８０％以上　Ｂ＝５０％以上　Ｃ＝５０％未満

【評　定】５＝９０％以上　４＝８０％以上　３＝５０％以上　２＝２０％以上　１＝２０％未満

1．評価規準

観点別学習状況の「B」に相当するものが、評価規準です。

単元など	主な評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元1 化学変化と 原子・分子	化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら，物質の成り立ち，化学変化，化学変化と物質の質量を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	化学変化について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，原子や分子と関連付けてその結果を分析して解釈し，化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現している。	化学変化と原子・分子に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元2 生物の体の つくりと はたらき	生物の体のつくりと働きとの関係に着目しながら，生物と細胞，植物の体のつくりと働き，動物の体のつくりと働きを理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	身近な植物や動物の体のつくりと働きについて問題を見いだし，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現している。	生物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元3 電流と その利用	電流，磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連付けながら，電流，電流と磁界を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	電流，磁界に関する現象について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，電流と電圧，電流の働き，静電気，電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現している。	電流とその利用に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
単元4 気象のしくみと天気の変化	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら，気象観測，天気の変化，日本の気象，自然の恵みと気象災害を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付けている。	気象とその変化について，見通しをもって解決する方法を立案して観察，実験などを行い，その結果を分析して解釈し，天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現している。	気象とその変化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

2．評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査　・小テスト　・観察実験のプリント、レポート　・授業プリント　・提出物の内容

・授業への取り組みの姿勢　・夏休みの課題（自由研究）

②観点別評価と各評価資料との関係

・観点別評価で、各資料がどのくらいの割合を占めるか示しています。

◎…とても重視する　○…重視する　△…参考にする場合がある

観点＼学習活動	重み付け	定期考査	小テスト	観察実験のプリント レポート	授業プリント	提出物の内容	授業への取り組みの姿勢	夏休みの自由研究
知識・技能	100	◎	○	◎	◎	○		○
思考・判断・表現	100	◎	○	◎	◎			○
主体的に学習に取り組む態度	100			◎	◎	○	○	

音 楽 科

第2学年

1．評価規準

歌唱	思考・判断・表現	・歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。
	知　識	・曲想と音楽の構造や歌詞と内容および曲の背景との関わりについて理解している。 ・声の音色や響きおよび言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。
	技　能	・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
器楽	思考・判断・表現	・器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。
	知　識	・曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解している。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。
	技　能	・創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につけている。 ・創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身につけている。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞	思考・判断・表現	・鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。
	知　識	・曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 ・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
共通事項	思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。
	知識・技能	・音楽を形づくっている要素およびそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。

2．評価基準および評価方法

① 下記の資料を総合して評価します

・実技テスト（歌唱・器楽）　・授業レポート（ワークシート・鑑賞レポート・合唱レポートなど）

・定期考査（期末）　・授業時の取り組み

② 観点別評価をするにあたって、各評価資料がどの位ウエイトを占めるかを示しています。

◎・・・・・とても重視する　○・・・・・重視する

観点＼学習活動	重み付け	実技テスト	授業レポート	定期考査	授業時の取り組み	指導の重点や評価するにあたって重視することがら
知識・技能	100	◎	◎	◎	◎	必要な知識を理解し、表現する技能を身につけている。
思考・判断・表現	100	◎	◎	○	◎	知識や技能を生かし、表現の創意工夫をしている。
主体的に学習に取り組む態度	100	○	◎		◎	課題解決のために粘り強く努力し、他と協働しながら学習している。

美術科　　第２学年

1　内容のまとまりごとに、以下の規準をＢとして評価する。

知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。
思考・判断・表現	・自然の造形や美術作品などの造形のよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えている。 ・主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。

2　評価方法

②　下記の資料を総合して評価します。

・授業での取り組み　　・作品に関するもの

・定期考査　　・プリント等

②　観点別評価と各評価資料との関係

◎大変重視する　　○重視する

	重み付け	授業での取り組み	ワークシートなど	アイデアスケッチなど	制作（途中段階）	制作（完成段階）	定期テスト	鑑賞など
知識・技能	100 点		○	○	◎	◎	○	○
思考・判断・表現	100 点		○	○	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100 点	◎	○	○	○	◎		○

令和６年度　保健体育科　評価基準計画（男女）
第１・２・３学年

保健体育目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けて学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

体育分野

体つくり運動	・体を動かす楽しみや心地よさを味わい、動きを高める方法を理解し、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができる。
器械運動	・マット運動／回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る ・跳び箱運動／切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る。 ・平均台運動／体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る。 ・鉄棒／上がり技、中技、下り技の支持、回転系の基本的な技を滑らかに行え、発展技や組み合わせが出来る
陸上競技	・短距離・リレー／滑らかな動きで早く走ること、バトンのタイミングをあわせることができる。 ・長距離走／ペースを守り一定の距離を走ることができる。 ・ハードル／リズミカルに走り、ハードルを滑らかに越すことができる。 ・走り幅跳び／スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳び／リズミカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。
水泳	・クロール／手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎ／手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 ・背泳ぎ／手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。 ・バタフライ／手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐことができる。
球技	・ゴール型／ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防ができる。（サッカー・バスケットボール） ・ネット型／ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。（バレーボール、バドミントン） ・ベースボール型／基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防ができる。（ソフトボール、キックベース）
武道	・柔道／相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの簡易の攻防ができる。
ダンス	・リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせてリズムに乗って全身で踊ることができる。

保健分野、体育理論

運動やスポーツの多様性の理解、意義や効果や安全を身につける、文化、スポーツの意義課題発見し解決
健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康環境について関心を持ち、考え、知識と理解を深める。

評価計画　★各分野、各単元において下記の資料を総合して評価します。

①定期考査　②実技・審判や計測等・実技テスト
③授業の出席状況、意欲　④提出物（自己評価カードなど）
⑤保健授業、体育理論　⑥授業時の取り組み（行動観察）

★観点別評価と各評価資料との関係

観点項目	割合	①考査	②実技	③授業	④提出	⑤理論	⑥取組	指導の重点や評価するにあたって重視することがら
知識　技能	100%	○	○	○	○	○	○	各種目の知識　技能の程度　技能テスト
思考 判断 表現	100%	○	○	○	○	○	○	創意工夫と安全確保 自己や他者に考えを伝えている
主体的に学習に取り組む態度	100%		○	○	○		○	自己の責任を果たし、助け、教え合い、マナーやフェアプレイを大切にする

★別に配布される　「各教科間計画　保健体育・評価規準」に表記されていることが　評価「B」となります。

技術1～３年　評価計画（技術科は家庭科と合算して評価を行います）

1　評価規準

題材・内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
材料と加工の技術	生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び，材料と加工の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，製作に必要な図をかき，安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。	生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして，課題を解決する力を身に付けているとともに，よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて材料と加工の技術を評価し，適切な選択と管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。
生物育成の技術	生活や社会で利用されている生物育成の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び，生物育成の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，安全・適切な栽培または飼育，検査等ができる技能を身に付けている。	生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに，よりよい地域社会の構築を目指して生物育成の技術を評価し，適切に選択，管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	よりよい地域社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。
エネルギー変換の技術	生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み，保守点検の必要性及び，エネルギー変換の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，安全・適切な製作，実装，点検及び調整等ができる技能を身に付けている。	災害時に想定される問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに，安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を評価し，適切に選択，管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	安全な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
情報の技術	生活や社会で利用されている情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な情報の仕組み，情報モラルの必要性及び，情報の技術と生活や社会，環境との関わりについて理解しているとともに，安全・適切なプログラムの制作，動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。	生活や社会の中から双方向性のある情報のやりとりに関わる問題を見いだして，必要な機能をもつコンテンツの設計・制作などの課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなどして，課題を解決する力を身に付けているとともに，よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて情報の技術を評価し，適切な選択と管理・運用，改良，応用する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，情報の技術を工夫し創造しようとしている。

2　評価の方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査

・課題(ワークシート・振り返りシート)

・作品

・授業の取り組み

②観点別評価と各評価の関係

◎・・・とても重視する

○・・・重視する

	重みづけ	定期考査	課題	作品	授業の取り組み	指導に当たって重視することがら
知識・技能	50	◎	○	◎		生活と技術についての基礎的な理解を図れている。またそれらにかかる技術を身に付けていること。
思考・判断・表現	50	○	○	○	◎	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、改善や表現をすることができること。
主体的に学習に取り組む態度	50			○	◎	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとしていること。

教科：技術・家庭（家庭分野）

1　評価規準　　・以下の規準が「B」に相当します。

編・章	評価規準		
	知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
家庭分野のガイダンス	家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。	・家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	・自立と共生について考えようとしている。
A　家族・家庭生活 1. 自分の成長と家族・家庭生活 2.幼児の生活と家族 3.幼児との関わり 4.家庭生活と地域の関わり 5.持続可能な家庭生活	幼児の発達と生活の特徴や幼児にとっての遊びの意義を理解している。 家庭と家族の相互関係を理解し、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。 介護など高齢者との関わり方に ついて理解している。	幼児とのより良い関わり方についての問題を見出して課題を設定し、工夫をうや改善策を考えることができる。 高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。	自分も家庭生活や地域を支える一員として、生活をより良くするために積極的に取り組もうとしている。 高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組み、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
B　衣食住の生活（食生活） 1. 食事の役割と食習慣 2.中学生に必要な栄養を満たす食事 3.さまざまな食品とその選択 4.日常食の調理 5.地域の食文化 6.献立づくり 7.持続可能な食生活	1日に必要な食品の種類と概量を理解し、1日分の献立作成ができる。 調理に関する安全と衛生や、肉・魚・野菜など取り扱い方を理解し、材料に適した加熱調理をすることができる。 地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	1日 分の献立について問題を見いだして課題を設定し、健康に良い食習慣をふまえて1日分の献立作成について考えて工夫・表現することができる。 社会や環境に配慮した食生活について考え、工夫している。	食生活を工夫し創造しようとしている。 食生活における日本の生活文化を継承するために積極的に学習し、食生活の課題を踏まえて改善しようとしている。
B　衣食住の生活（衣生活） 1.目的に応じた衣服の選択 2.日常着の手入れと保管 3.生活を豊かにするもの 4.持続可能な衣生活	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解し、材料に応じた日常着の手入れができる。 製作に適した縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫できる。 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考えて製作を工夫・表現することができる。	衣生活における日本の生活文化に関心を持ち、継承しようとしている。 製作品を活用することを通して、資源や環境のために改善に向けて取り組もうとしている。
B　衣食住の生活（住生活） 1.住まいの働きとここちよさ 2.安全な住まいで安心な暮らし 3.持続可能な住生活	家族の生活と住空間との関わりがわかり、住居の基本的な機能や家庭内事故の予防など住まいの安全対策について理解できている。	家族の安全を考えた住空間の整え方について考え、工夫できる。 社会や環境に配慮した住生活について考え、工夫している。	商品の選択と金銭管理について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、住生活を工夫しようとしている。 住生活における日本の生活文化を継承しようとしている。
C消費生活 1.家庭生活と消費 2.購入・支払いと生活情報 3.消費者被害と消費者の自立 4.持続可能な社会	購入方法や支払い方法の特徴や計画的な金銭管理の必要性について理解している。 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	物資・サービスの選択に必要な情報を 活用して購入について考え、工夫することができる。 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫することができる。	身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとすしている。 計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造しようとしている。

2　評価方法

①下記の資料を総合して評価します。

・定期考査(期末)　・授業(実習・作業)の取り組み・提出物・作品

②観点別評価と各評価との関係

・観点別評価で各資料がどのくらいのウェイトを占めるかを示しています。

◎…とても重視する　　○…重視する

	重みづけ	期末考査	提出物・作品の内容	小テスト	授業の取り組み
知識及び技能	100%	◎	◎	◎	◎
思考力・判断力・表現力	100%	◎	◎	○	○
主体的に学習に取り組む態度	100%		◎		◎

令和６年度　２学年　英語科　評価規準表

１．評価基準

・観点別学習状況の「B」に相当するのが評価規準です。

※表のすべてを①知識、技能　②思考、判断、表現　③主体的に学習に取り組む態度の３観点から評価します。

単元名	文法事項、表現	単元目標
Unit 0　My Spring Vacation	動詞の過去形, 過去進行形, There is [are]	思い出を伝えるために、これまでに学んだことを用いて、自分が経験したことを話すことができる。
Unit 1 A Trip to Singapore	be going to、助動詞 will SVOO、SVOC（C=名詞）	休暇や週末の予定について, たずねたり伝えたりすることができる。
Unit 2　Food Travels around the World	接続詞 when、if、that because	好きな食べ物やその理由について, 紹介文を書くことができる。
Unit 3 My Future Job	不定詞（目的を表す副詞的用法）（原因を表す副詞的用法）（名詞的・副詞的用法）（形容詞的用法）It is …＋to	自分が体験したことや学んだことなどについて, たずねたり伝えたりすることができる。
Unit 4 Homestay in the United States	have to, do not have to 助動詞 must, must not 動名詞（目的語）	習慣やマナーについて, たずねたり伝えたりすることができる。
Unit 5 Universal Design	疑問詞＋to、主語＋動詞＋（人）＋疑問詞＋to、主語＋be 動詞＋形容詞＋that	身近なもの・ことについて, 使い方ややり方を説明したり, 自分の考えを述べたりすることができる。
Unit 6 Research Your Topic	比較表現（…er, the …est）（more …, the most …）（better, best）（as … as ～）	身近なことについて, 特徴を比較しながら説明することができる。
Unit 7 World Heritage Sites	受け身（平叙文）（疑問文）（by … つき）（助動詞つき）	各地の世界遺産を紹介することができる。

２．評価方法

①　下記の資料を総合して評価します。

・定期考査（中間テスト、期末テスト、学年末テスト）

・小テスト、単語テスト、授業のプリント、提出物（ノート、宿題、ワーク等）

・音読テスト、暗唱テスト、発表テスト

②　観点別評価と各教科資料との関係

◎→重視する

	中間考査	期末考査	小テスト	単語テスト	音読テスト	スピーチ	振り返りシート	授業中のプリント	授業中の取り組み	持ち物　忘れ物		
知識、技能	◎	◎	◎	◎				◎				
思考、判断、表現	◎	◎			◎	◎		◎				
主体的に学習に取り組む態度	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		